

地域別振興方向

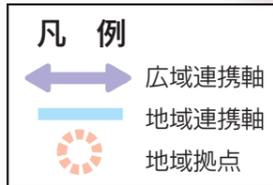
新市のまちづくりゾーン の方向性

新市の自然、産業、教育文化及び土地利用等の特性を活かした均衡ある発展をめざすため、これまでの地域の歩みを尊重しつつ、新市を大きく、3つのゾーンに分け、地域別振興を図ります。

田園文化交流ゾーン

「自然環境や文化と共生する交流・体験地域として農業と観光のふれあいのある田園ゾーンの形成」

・空港周辺を人とももの交流拠点として、地域一帯を田園文化交流ゾーンと位置づけ、農業と観光の振興、歴史・文化の振興を図りながら、実り豊かな自然と文化が共生する交流・体験地域として整備を図ります。



錦江湾多機能都市交流ゾーン

「都市機能を充実し、にぎわいと躍動感あふれる市街地とマリンゾーンの形成」

・人口増加が見込まれる国分平野一帯を錦江湾多機能都市交流ゾーンと位置づけ、都市機能の充実を図るとともに、居住環境やスポーツ・レクリエーション環境等の整備を進め、にぎわいと躍動感あふれる交流拠点都市づくりを図ります。また、錦江湾沿い一帯は、静かで穏やかな内海としての特徴を活かしたマリンゾーンとして、整備を図るとともに、港湾事業や漁業等の振興を促進します。



土地利用構想図



自然交流ゾーン

「豊かな自然や美しい景観を保全・継承し、住む人、訪れる人が癒されるゾーンの形成」

・霧島山系の国立公園と1市6町の山麓一帯を自然交流ゾーンとして位置づけ、豊かな自然や美しい景観を保全・継承し、希少価値のある動植物の保護に努めるとともに、森林については、水源かん養としての大切な機能を活用しながら、これらの魅力を住む人だけでなく、訪れる人々までが享受できる、心休まる癒しのゾーン形成を図ります。



新市のまちづくりの軸の方向性

新市地域内外との人やものの活発な交流を促進するために、2つの連携軸を設定します。

広域連携軸

・空港、九州縦貫自動車道、東九州自動車道を中心とした軸を広域連携軸と位置づけ、九州南部と九州北部の人・ものの交流を促進し、新市の生活の向上や産業の振興を図る重要な基軸とし、周辺地域である鹿児島市や熊本、宮崎といった地域はもとより、各地との連携を強める軸とします。

地域連携軸

・旧市町の市役所や町役場を中心とした地区を地域拠点とし、各地域の交流・連携を推進することにより、新市としての機能強化を図っていく軸として、地域連携軸を設定します。

